

# 刊行にあたって

市井 吉興

立命館大学国際平和ミュージアム平和教育研究センター副センター長

2023年9月15日、立命館大学国際平和ミュージアムは第2期リニューアルオープンのセレモニーを挙行し、9月23日（土）より一般公開が始まりました。この巻頭言を執筆している2024年1月末までに、多数の来館者をお招きすることが出来ました。

『立命館平和研究』第25号では巻頭特集として、リニューアルオープンに先立ち、2023年8月5日（土）と26日（土）の2回にわたって開催された立命館土曜講座の講演録を収録しています。この企画は「国際平和ミュージアム・リニューアル奮闘記—開館30周年のミュージアムの歩みと第2期リニューアルの意義と展望」と題され、リニューアルに携わった教員、職員、学芸員が登壇いたしました。

今次リニューアルは、先のリニューアル（2005年実施の第1期リニューアル）から18年の時を経るとともに、ミュージアムがオープンしてから30周年+1年目という節目となる記念事業でもあります。今次リニューアルは2018年に「国際平和ミュージアム第2期リニューアル基本構想検討委員会」を設置することから、本格的な活動を始めますが、ここまでの道のりは平たんなものではありませんでした。振り返りますと、私たちの熱い議論は立命館大学が教学理念として掲げる「平和と民主主義」のリアルな実践といえるかもしれません。各登壇者の入念な準備により、講座当日の様子、リニューアルの要点、展示構成の変化、リニューアル関連の「こぼれ話」を巻頭特集からうかがい知ることが出来ます。

たしかに、2023年は立命館大学国際平和ミュージアムにとって「リニューアル事業一色」と言えます。しかし、『立命館平和研究』第25号には今次リニューアルの門出にふさわしい論文が4本、研究展望が1本、研究ノートが1本、実践報告が1本と、様々な論稿を収録することが出来ました。

リニューアルを機に、立命館大学国際平和ミュージアムは、平和教育研究センターと協力しながら、さらに、平和教育、地域問題、人権問題などに関する教育・研究を平和創造に向けて結集していく拠点としての役割を強化してまいります。

最後になりますが、今回も数多くの論文の応募がありました。論文投稿をしていただいた方々に感謝を申し上げるとともに、第26号への応募もお待ちしております。

